

SSKU YKRふあみりー通信

◇2015年2月号 No. 56◇
編集：特定非営利活動法人
全国薬物依存症者家族連合会
〒121-0813
東京都足立区竹の塚5丁目18-9
竹の塚マンション207
TEL03-5856-4824
FAX03-5856-4827
<http://www.yakkaren.com/>

平成26年度やっかれん報告0

薬家連 理事長 林 隆雄

やっかれんは発足から11年経過しました。皆様の支えの中で活動ができ感謝申し上げます。

26年度は全国の家族会に呼びかけ13家族会が集結し今後の運営のための基本である名称、会員制度、会費などに話し合いを重ねました。26年11月30日、臨時総会において、3点が決議されました。

- ① 名称変更 現在「全国薬物依存症家族連合会」→「全国薬物依存症者家族会連合会」へ
- ② 従来正会員は20,000円（個人、家族、一団体（企業など））でしたが6,000円に変更しました。
- ③ ビギナー会員制度の導入（会員登録をして1年後をめどに正会員をお勧めします）

※従来正会員の方には6,000円×3人の個人名（夫、妻、息子、娘など）を出し正会員になっていただくことをお願いいたします。会員数を増やせば政府への交渉力も増します。皆様にご理解をいただき、会員強化にご協力ください。

以上のように各家族会の方々にお願いして会員登録、会員増強、会費の徴収をお願いすることになり改めてご協力をお願いいたします。

26年度の事業としまして日工組財団の助成金をいただき、全国各地に当法人の会員が家族会を訪問し法人の紹介、体験談を語り、家族の回復支援にお手伝いいただきました。

毎年、厚生労働省の依頼に基づき全国6ブロックにおきまして近隣の家族会にお願いして再乱用防止対策講習会に参加し体験発表をしました。

今年度も、厚生労働省の予算に組み込まれている、依存症家族研修プログラム、職員研修プログラムなど各家族会の参加を奨励しました。



国への働きかけは、7月に関係省庁とのヒアリング（今回は茨城ダルク施設長、スタッフも参加しました）を受けてそれに関しての11月に質問主意書を提出しました。

生活保護に関しては生活扶助費、住居扶助費など段階的に引き上げていく方針で、くい止めようはありません。

薬物依存症者に治療回復プログラムが多くの精神保健福祉センターで実施するための予算が計上されました。家族に対しても教育プログラム「クラフト」を実施していく方向に進んでいます。依存症治療、回復支援を目的とし依存症拠点機関設置運営事業を新たに実施の取り組みが進められています。拠点病院として、神奈川、大阪府、岡山、肥前、民間として岐阜県各務原病院が決まり、それらの病院を取りまとめ拠点機関として久里浜医療センター（アルコール、ギャンブル依存担当）と国立精神・神経医療センター（薬物担当）とが協力して担当することが決まりました。これからの依存症者回復支援体制を協議する場にやっかれんも参加を呼び掛けていただきました。

また、NHK厚生文化事業団から薬物依存回復に向けてのビデオ作製に参加協力しています。

横浜で日本依存神経精神医学会、アルコール関連問題学会がありダルクのメンバーが各部会に参加しました。医療との連携が進みつつあることを感じます。

03年薬物乱用防止5か年戦略に家族支援が謳われ04年にやっかれんが立ち上がり11年の間

薬物依存症者・家族支援を要望してきました。やっかれんとわすかですが医療の支援体制が始まりました。これも皆様の下支えがあり、できた活動です。感謝申し上げます。また、ダルクでの回復、施設支援、生活保護など充実に運動を重ねていきたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。

突き放しの体験と今思うこと

アノニマス：エディー

家族会に繋がってしばらくして“突き放し”という言葉を知り、これが本人を回復に導く有効な手段であると思うようになりました。当時本人は自宅を出て友人のアパートに同居している状況でした。ある日の夜その友人から、本人がどうにもならない状態だから直ぐに引き取りに来てくださいと電話があり、深夜バスで関西方面に向かい翌朝アパートに到着しました。本人は薬が効いているのか意識はあまりしっかりしていなかったようでした。本人の前で家族会で覚えた“突き放しメッセージ”を伝えました。

ダルクに行く事、もしくは一旦入院してダルクに繋がること以外は、親として今後支援はしないことを伝えました。

本人は何も言わずに、その場では静かに聞いているだけでした。私の鼓動は話している際ずっと鳴り止まず、頭は白くなっていく感じを今でも覚えています。

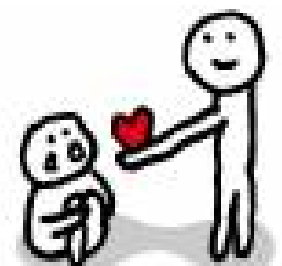
その後アパートを出て関東の病院に行こうとしましたが、途中で本人は抵抗して逃げ出してしまいました。しかし私は十分に突き放しのメッセージを伝え切れなかったため、追いかけて最後には本人と警察官と私の3者で、本人は病気であり施設に入って治療するしか回復の道は無いと伝えました。本人は私から直接話を聞くことは受け入れられない状況でしたので、私は警察官にしっかり伝えました。本人はそばに居たので聞いていたと思います。その後、私たちは別れ離れになり数ヶ月音信はありませんでした。

今思えばあの時から我々の回復の始まりだ

ったのかなと思います。それまでは何らかの方法で本人と連絡を取ろうと思えば取れましたが、その時以来全く連絡を取ることは出来ませんでした。生きているのか、テレビのニュースに出るのではとか心配をしたものです。私の突き放しの方法は当時覚えたての単純に“突き放し”で愛情や思いやりの無いものだったと思います。しかし、突き放しには本人によって受け止め方が異なるように、一律の形は無いと思います。偶然私の取った突き放しが本人には効いたのかも知れません。

また、この突き放しを契機に私たちは、お互いに親離れ、子離れをするきっかけを得たように思います。あれから5年たった今、本人はダルクに繋がり、仲間の中で回復のステップ踏んでいます。また、私たちも親離れ、子離れという点からある程度の距離感を持ってお互いの関係を保っているように思います。

突き放しは必ずしも良い結果をもたらすとは限りません。また、覚悟も必要ですし、愛ある突き放しであることが本人に伝われば良いと思います。 後はお任せです。





メーリングリストの わ

「全国の家族会の人とつながりたい！」「他の家族会ではどんなことをやっているの？」こんな声をもとに各地の家族会役員の方を中心に行われている薬家連全国家族会議メーリングリストでのやりとりです。

今年1回目の家族会を1月24日(土)に、新潟家族会の小西さん、薬家連理事の松井さん、仙台家族会世話役さんの支援をいただき開催しました。

支援をいただいた3名のお力かハイヤーパワーかこの日、青森家族会へ初めてビギナーの方が参加し、体験談や、アドバイスなど話しとても内容の濃い家族会になりました。

夜の部では、今後の家族会としてのあり方等、貴重な意見をいただきとても参考になりました。

本当に有難う御座いました。皆様からいただいた意見を参考にし、これからも青森家族会を盛り上げて行きたいと思えます。

今後とも御指導宜しく願いいたします。

大変お世話様でした。

この日に初めてのビギナーが訪れるなんてほんとうハイヤーパワーですね(*^▽^*)/

地方に行けばいくほど世間体の壁がいかに高いか、地方の家族会が抱える問題をここでも聞くことができました。それを捨て去った小西さんの穏やかな笑顔に勇気づけられました。

2組4人だけで継続することの大変さ、志の強さを感じました。仲間は全国にいます、4人だけじゃない。今回は仙台の仲間が仙台に通ったことのある青森在住の仲間に片っ端から声をかけてくれて、昼の部は8人、夜の部も10人が集まりました。

青森家族会は正式に代表者も決め、やっかれんにも青森家族会として加入することを決定されました。

地方だからこそ人に言えず薬物問題で苦しむ家族はいます。これからは人数も増えそうな予感がします。青森家族会がいつでもそこにあり続けることが必要とされます。

ビギナーの方の必死な思い、そしてほっとした表情を見てそう思いました。

今回お誘いいただいた小西さん、ありがとうございました！

何かアクションを起こした時そこから何かが開けると感じました。

道路の雪の壁を見られたこと

のっけ丼が食べられたこと

津軽弁をたっぷり聞けたこと

ミーティング以外のおまけもたっぷりありました。

青森家族会の皆様ほんとうにお世話になりました。



MY のっけ丼です

青森家族会の皆様、今回私の勝手な思いつきで突然お邪魔しましてありがとうございました。

そして、青森の皆様の温かい心使い、本当に感謝します。

新潟も最初は小さな、小さな家族会でした。

小さな家族会にも大きな家族会に負けないくらいいい面があります。

これからも、「家族会の門を開けておく」、これこそが私達今家族会に繋がっている者の使命であり役割なのではと思います。

青森の家族会の皆様、これからですよ、青森にも多くの困っている家族は沢山います、一人でも多くこれらの方が繋がることを願います。



昨年の夏にやっかれんメッセージ活動で訪問させていただき、再び冬の青森へ行くきっかけを作ってくださった「青森家族会を応援しよう！」发起人、小西さんに感謝します。

皆さん、青森は夏もいいけど冬も良かったです。

ビギナーさんがいらっしゃったからなのか・・・青森の仲間はとても成長して見えました。他の方々にも伝えてください。おそらく自分たちだけでは気づかないかもしれませんが、半年前よりも、ずっと頼もしい家族会になっていましたよ。

今回、青森家族会は、いちはやく
「やっかれんに参加」決定
「青森家族会の代表者」決定
「やっかれんの集金担当者(責任者)」決定
4月からスタートする家族会単位の形を実行しました。
ビギナーへの対応も大丈夫そうです。

・「やっかれんの会員になって下さい」
・「やっかれんの10年」
・「家族会の今後の作業手順」
などの資料が、新しい家族会にも伝わった要因だと思えます。
青森家族会の名前が、新しいパンフレットに載りますね！
今後とも、こちらこそ宜しくお願い致します。



**左が会場の青森ダルクです
奥の積まれた雪山のすぐ裏側は陸奥湾です
(※青森家族会は3月から会場が
カトリック本町教会に変更になります)**

青森家族会の会場が変更になります

場所 : カトリック本町教会
住所 : 〒030-0802 青森市本町 4-4-17
日時 : 毎月第2土曜日 13:00~15:00
連絡先 : 090-3397-1043
※変更する場合がありますので事前に確認をお願いします

やっかれん活動に迷いなし

やっかれん正会員

初めて全国家族会議に参加した時、『NPO 全国薬物依存症者家族連合会から家族会連合会』に改変する事を知りました。目から鱗でした。全国に30以上ある家族会が、一つの団体になるのかと想像してワクワクしました。これを提案された方は、どなたか聞いていませんが、この『束ねる』ことによく気がついたなと思いました。

以前 TV で聞いたアインシュタインの名言。「同じ事をしながら、違う結果を期待するのは狂気だ！」会議では、私たちが意見を言いやすいように配慮されていました。疑問に対しても的確な答えが返ってくるというスペシャリストの理事さんたち。理事さんの顔と名前が一致する頃には、これまでの苦勞とこれからの向けての熱意が強く感じられるようになっていました。

「この人たちを支えよう！」中央で頑張っている人たちの力になりたい。帰り道、いつも、そう思いました。私に出来る事の一つとして、その想いを他の会員に伝えて賛同してもらおうことだと思いました。

薬物依存症の家族にとって、とても険しい道先頭に立って切り開いている人たちは、私たちと同じ立場の家族であり、私たちの仲間であることに今一度、再認識する時期ではないでしょうか！

失って初めて気づく大切さで『水と安全』の他に私たちの場合は『やっかれん』も入ると私は思います。

誰も好きでこういう立場になった訳ではありません。でも、なってしまったからには後からくる仲間や自分自身と当事者の為やるしかないのでは…。「できるかできないか？」ではなくて「やるかやらないか？」の問題。愛ある突き放しの時の信念と重なります。

「どうせ…」という言葉は何もやっていませんよね。「やっぱり…」という言葉も結果ダメだった意味につながってしまいますが、重要なのはそれまでの過程です。

私は長い間、先取り不安に苦しみました。ある病院の先生に「先取り不安は、いつまで続くのでしょうか？」私は真剣でした(笑) 事前にあれこれ心配するよりも実際にやってみると意外に簡単だ、と考えられるようになったら楽ですよ♪ ならば、活動を続行する事になんの迷いもなく、揺れる必要もないのだと確信しました。

メーリングリストメンバーに加わり1年半、そして、他の家族会へメッセージ活動を行い、いつも「ありがとう」とか「嬉しい」と言っていました。私は「こちらこそ！」の想いでいっぱいでした。

あの日、ダルクがあったから
あの日、家族会があったから
あの日、薬家連があったから
今の私がいるのだと… こんな日が来るなんて夢にも思えなかった私だったから、これからも活動に参加していきたいと考えています。

『今日という日を自分にもあたえてくれた神に感謝いたします』

誰でも知っている画家の作品
【歩き初め】あるきぞめ

昨年、この絵に出会ったとき感動で涙しました。私とお父さんとお母さんに見えました。お父さんが片膝ついて大きく両手を広げて、私の生まれて初めての一步を待っています。

以前の私なら自分が、幼い我が子を後ろで支えているお母さんに見えたことでしょう。皆さんは、自分がどの人に見えましたか？



薬家連理事会を開く

2015年1月31日 午前10時～午後5時 場所 竹の塚事務所

出席者 林理事長、横川副理事長、片山副理事長、川上理事、伏見理事、岩間理事、前田理事、松井理事、重光理事、柴田理事

報告事項

1、前理事会以降の理事による各家族会へのメッセージ活動

- ・松井理事 青森家族会を訪問、青森家族会は、やっかれんに加入することになる。
- ・前田理事 岡山家族会（松浦さん代表）を訪問、又、北九州家族会に家族の一人として参加。

2、この間の関係機関依頼への対応等の活動

- ・横川副理事長 厚労省主催の依存症者家族研修プログラムに参加、体験談語る。
- ・厚労省主催の薬物問題関連講習会（薬物再乱用防止対策講習会）が全国6ブロックで開催され、家族会の関係者をお願いして、講演を実施。
- ・やっかれんへの電話相談を月2,3回程度松井理事が受ける。今後家族会を紹介する時は家族会に連絡をすることを確認。又、電話転送先を前田理事から林理事長に変更する。
- ・林理事長が愛知県知事と面談し、精神保健福祉センターのスマープの予算化を要請。
愛知県では藤田保健衛生大学近藤千春助教授が主催し、弁護士、保護観察所、刑務所、病院、精神保健福祉センター（愛知県、名古屋市）、名古屋ダルク、三河ダルク、愛知家族会、マックなど15ほどの機関が連携し、2ヶ月に1度会合を開いている。
- ・11月に佐賀県で、国立肥前精神医療センターが支援し依存症対策推進協議会が始まり、前田理事が委員として参加することに。肥前精神医療センターでは、クラフトを年2クールで進めている。
- ・NHKの厚生事業団が作成している家族のビデオで、林理事長が体験談を話すことを承認。
- ・依存症治療拠点機関の薬物依存については、中心的役割を国立精神・神経医療研究センターが担当することになった。久里浜はアルコール依存を担当とのこと。松本俊彦先生より本年度中に関係者を集めて会合を開きたいので協力してほしいと依頼あり。

依存症治療拠点機関を厚労省が決定（前田理事報告）

国立肥前精神医療センター（佐賀県）・岡山県精神科医療センター（岡山県）・大阪府立精神医療センター（大阪府）・神奈川県立精神医療センター・せりがや病院（神奈川県）・各務原病院（岐阜県）

全国拠点機関として

国立精神・神経医療研究センター（東京都小平市）・国立久里浜精神医療センター（神奈川県横浜市）

検討事項

1、全国薬物依存症家族連合会への組織変更に伴う、会員・賛助会員の定義は？様々な意見が出され

賛助会員—やっかれんの事業方針・事業目標に賛同し、事業に直接参加はできないが資金をもって支援する方。
正会員—やっかれんの事業に参加する社員（一般的には正会員）。事業とは、総会における議決に参加したり、総会やその他の機会にやっかれんの運営に意見を述べたり、各家族会にメッセージ活動に出かけるような活動。
という定義にまとまってきましたが、次の全国家族会議で更に議論し、確認していきたい。

2、ブロック化について

家族会として参加するところがはっきりした段階（3月末）で、ブロック化の提案をする。

3、理事の体制

前回の全国家族会議では、とりあえず現体制でよいとの結論であったが、やっかれんに参加する家族会が3月末にはハッキリするので、次の全国家族会議でさらに煮詰める。

岩間理事より「やっかれんの理事を辞退し、茨城家族会の世話役に専念したい」という表明があり、本年の総会で議決し、正式確認をすることに。又、家族会としてやっかれんに参加する意思決定をされた家族会から理事を

選出していただくよう働きかける。

4、やっかれんに参加してもらうよう各家族会への働きかけ

3月末にどの家族会が参加するのかハッキリするので、その段階で、参加表明のない家族会に対して片山理事が各理事の担当をきめて働きかける。

5、パンフレットの変更

会員と会名の変更もあり、文字数も少なくデザイン含め4月中旬に変更する。

6、次回全国家族会議 5月30日ウイルあいち（名古屋市）午前10時半から午後3時

「クラフトの勉強会」 午後3時から5時まで

（前回全国家族会議で、総会時フォーラム実施しないと決めたが、要望があり、勉強会を企画）

☆家族会からの参加者1名分をやっかれん費用で賄う

H27年度総会 5月31日9時半受付スタート、10時開始、11時半終了予定

7、認定NPOに向けてどう準備するか 柴田理事が説明

8、国への取り組み

- ・2015年度予算確定後、各省庁とのヒアリングを実施する。
- ・昨年11月に答弁が出された質問主意書の要点をまとめ「10年の活動をまとめ」と共にHPにアップする。

9、助成金について

- ・日工組の活動報告書を理事メーリングとやっかれんメーリングに送付した。今後、成果をまとめてファミリー通信で発信できるよう進める。柴田理事が助成金獲得のノウハウ資料を作り、各家族会の責任者に送るので活用を。

10、竹ノ塚事務所で家族会開いては

27年4月を目途に、竹ノ塚事務所で家族会を立ち上げる。ファミリー通信に開催案内を掲示する。

11、HPの活用

積極的にやっかれんの活動や情報を小西さんに送り表示してもらおう。理事としてHPをできる人を探す。

以上

次理事会予定 4月29日(水・祭日)、7月26日(日) 竹の塚（午前10時～午後5時）

第10回 NPO 愛知家族会フォーラム

『あきらめないで』

日時 : 平成27年3月15日(日) 10時～

会場 : ウイルあいち 参加費 : 1,000円

基調講演 : 「薬物依存と回復支援」

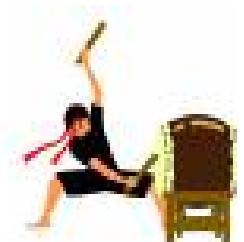
成瀬暢也氏（埼玉県精神医療センター副病院長）

講演 : 「スマーププログラムの導入」

藤代聡氏（県精神保健福祉センター医師）

講演 : 「愛知家族会10年の支援」岩井喜代仁氏（茨城ダルク代表）

今年は10周年を記念して富山ダルク海岸組の太鼓演奏もあります。



東京家族会(仮名称)開催します

平成27年4月13日(月)

会場： やっかれん事務所(東武伊勢崎線竹ノ塚駅から徒歩5,6分 ヨーカ堂前)
東京都足立区竹ノ塚 5-18-9-207

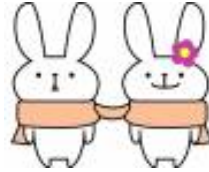
TEL： 090-5520-7329

メールアドレス： yakkaren@ck9.so-net.ne.jp

開催日： 毎月第2月曜日 17時～20時

参加費： 2000円

人数が増えてきたら、日時・場所は変更
するかもしれません。



やっかれんにご意見ください

yakkaren@ck9.so-net.ne.jp

ホームページ：<http://www.yakkaren.com/bbs/yybbs.cgi>

掲示板にもお立ち寄りください

皆様のご協力に感謝いたします。

今後も薬家連の活動にご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

発行所

157-0073

東京都世田谷区砧 6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100円（会費に含まれる）